

# 環境経営レポート



株式会社 福永建設工業

発行日 2023年6月30日

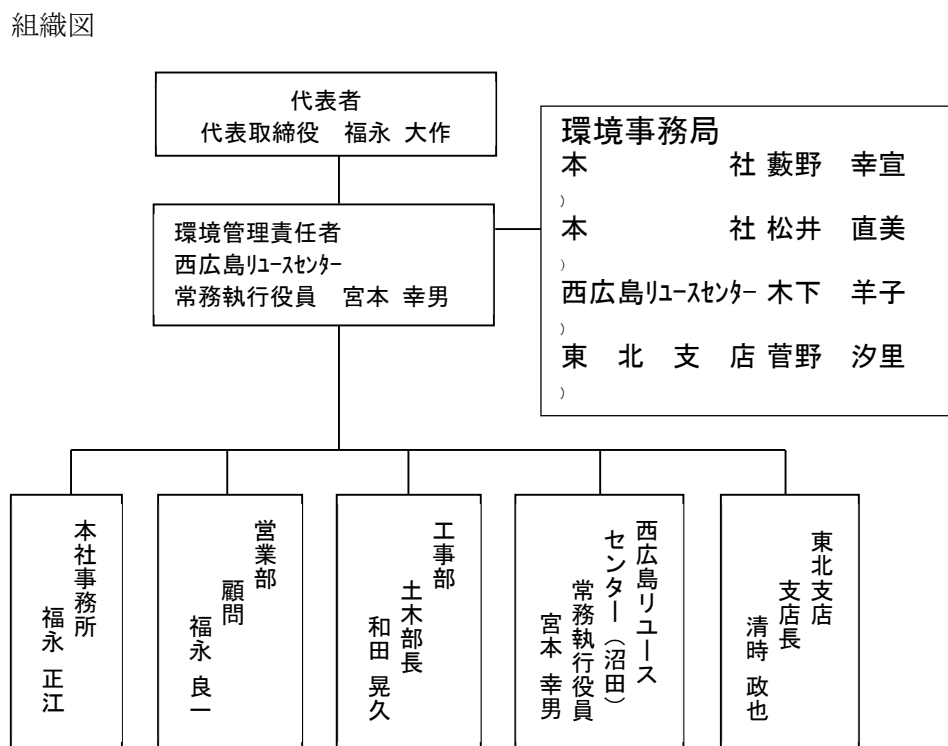
(対象期間:2022年4月~2023年3月)

# 目 次

1	組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）	1
2	対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	4
3	環境経営方針	5
4	環境目標	6
5	環境経営計画	6
6	環境目標の実績	7
7	環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無	8
9	代表者による全体評価と見直しの結果	8

# 1 組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

- (1) 事業所名 株式会社 福永建設工業
- (2) 代表者 代表取締役 福永 大作
- (3) 法人設立年月 昭和 55 年 10 月
- (4) 資本金 5,000 万円
- (5) 所在地 本社 広島県広島市西区観音本町 1 丁目 16 番 22 号  
 工事部 広島県広島市西区観音本町 1 丁目 16 番 9 号  
 西広島リニューアルセンター 沼田工場 広島県広島市安佐南区伴北 4 丁目 9820-1  
 己斐資材置場 広島県広島市西区己斐上 4 丁目  
 東北支店 宮城県石巻市蛇田字新下沼 76-1  
 東北支店資材置場 宮城県石巻市鹿又字横前 136 番
- (6) 事業の概要 土木構造物及び建築物の設計・工事監理及び施工、不動産開発、産業廃棄物収集運搬、建設汚泥の中間処理
- (7) 事業規模等 工事等の件数 13 件  
 売上高及び廃棄物の収集運搬量・処分量  
 総売上高 2922 百万円（内、汚泥売上高 150 百万円）  
 廃棄物の収集運搬量 10,542.85 t（広島）、0.00 t（東北）  
 廃棄物の処分量 18,760.20 t  
 従業員数 74 名  
 事業所の延べ床面積 68m<sup>2</sup>（広島）、99m<sup>2</sup>（東北）



- (8) 担当者連絡先 工事管理部 藪野 幸宣 (082) 293-0124

## (9) 許可の内容

許可種類・番号	有効期間	種類
建設業許可 国土交通大臣許可（特-4）第 24751 号	R4. 10. 29 ～ R9. 10. 28	土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土木工事業、石工事業、屋根工事業、管工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上げ工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、水道施設工事業、解体工事業
産業廃棄物処理業 広島県・収集運搬 第 3409111977 号 （積替え・保管は含まない）  宮城県・収集運搬 第 0402111977 号 （積替え・保管は含まない）  山口県・収集運搬 第 03500111977 号 （積替え・保管は含まない）	R5. 5. 20 ～ R8. 5. 19  R5. 6. 10 ～ R10. 6. 9  R3. 11. 15 ～ R8. 11. 14	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）、陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、鉛製の管及び廃石膏ボードを含み、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、廃容器包装、自動車等破砕物、判定基準に適合しないもの、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を除く。
産業廃棄物処理業（優良認定） 広島市・処分 第 7320111977 号 中間処理（混合固化）	R5. 3. 29 ～ R12. 3. 28	汚泥（無機性であるものに限る、判定基準に適合しないものを含まない。）（特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

(10) 施設等の状況

【産業廃棄物収集運搬業】

運搬車両：ダンプ 3t×2台、4t×1台、10t×6台、ユニック 3t×1台

【産業廃棄物処分量】

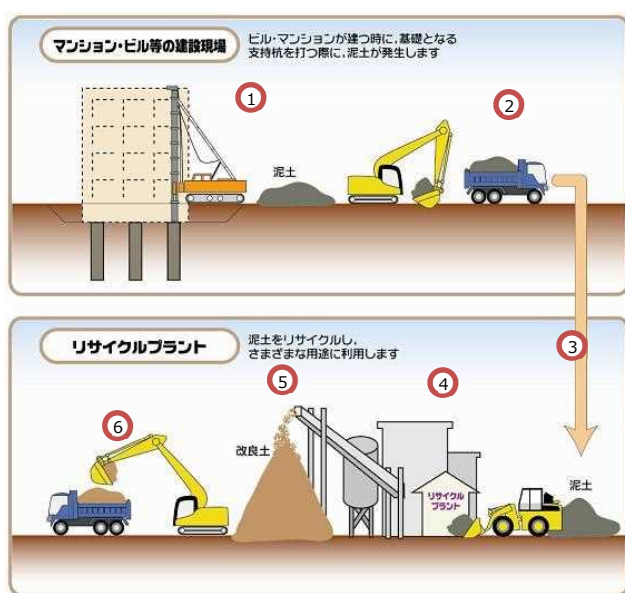
処理施設の種類：混合固化施設

処理する産業廃棄物の種類：汚泥（無機性であるものに限る、判定基準に適合しないものを含まない。）

処理能力（規模）：汚泥 600 t / 日（8h）

処理方式：混合固化

処理工程図



- ① 掘削
- ② 建設現場からの排出
- ③ リサイクルプラントへの搬入
- ④ 混練機での改良
- ⑤ 改良土製造
- ⑥ 埋戻し利用・販売等





### 3 環境経営方針

#### (経営理念)

1. 顧客のニーズに応える為、安全・品質・価格・環境・整理整頓に創造力を最大限発揮する。
2. 個人の長所を伸ばし、人間性を尊重する。
3. 信用、信頼される社員個人・会社全体とする。

#### 環境経営方針

私たちは、地球温暖化や地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、全社の環境経営への取組として、建築工事、土木工事、産業廃棄物収集運搬・処分の事業活動における環境負荷を低減するとともに、自らが施工する工事、受託した産業廃棄物の収集運搬・中間処理等に関して環境配慮を図ります。

#### 行動指針

1. 以下の項目についての環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
  - (1) 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
  - (3) 水資源の節水
  - (4) 働きやすい環境の整備
  - (5) 環境配慮型施工の提案
  - (6) 受託した廃棄物のリサイクル製品化
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 環境への取組を環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：平成24年9月1日

改定日：2020年7月1日

代表取締役 福永大作



## 4 環境目標

	環境目標項目	責任部門 責任者	基準年度 2018年度	年度毎目標		
				2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素 排出量の削減	①電力の削減	本社事務所・東北支店、営業部、工事部、西広島リユースセンター	二酸化炭素排出量 1,147.586kg-CO <sub>2</sub>	△1.0%	△1.5%	△2.0%
	②自動車、建設重機の燃料使用量削減	営業部、工事部、西広島リユースセンター				
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	本社事務所・東北支店 工事部 西広島リユースセンター	一般廃棄物量 45.0kg	△1.0%	△1.5%	△2.0%
省資源	節水	本社事務所・東北支店 工事部 西広島リユースセンター	水使用量 297.0m <sup>3</sup>	△1.0%	△1.5%	△2.0%
働きやすい環境の整備	事務所・現場の整備	本社事務所・東北支店 工事部 西広島リユースセンター		目標を設定せず、常に環境に配慮した施工に取り組む	目標を設定せず、常に環境に配慮した施工に取り組む	目標を設定せず、常に環境に配慮した施工に取り組む
自ら提供する製品またはサービスの環境配慮	環境配慮型施工の提案	工事部	環境配慮型施工件数 6件	設定しない	設定しない	設定しない
	受託した廃棄物のリサイクル製品化	西広島リユースセンター	リサイクル製品販売量 19,174.7 t	+1.0%	+1.5%	+2.0%

※使用電力の二酸化炭素排出量は、中国電力の平成30年度の排出係数：0.636(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)と、東北電力の平成30年度の排出係数：0.528(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用して算出。  
 ※化学物質については、使用していないため、目標設定なし。

## 5 環境経営計画

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	責任部門 責任者	年度毎達成手段		
			2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素 排出量の削減	①電力の削減	本社事務所 東北支店 営業部 工事部 西広島リユースセンター	・空調の適温化 ・不要照明の消灯 ・電力不要時の負荷遮断、変圧器遮断 ・工場の運転効率の向上	・空調の適温化 ・不要照明の消灯 ・電力不要時の負荷遮断、変圧器遮断 ・工場の運転効率の向上	・空調の適温化 ・不要照明の消灯 ・電力不要時の負荷遮断、変圧器遮断 ・工場の運転効率の向上
	②自動車、建設重機の燃料使用量削減	営業部 工事部 西広島リユースセンター	・エコドライブ ・重機・建設機械の省エネ運転 ・低燃費車に更新1台	・エコドライブ ・重機・建設機械の省エネ運転	・エコドライブ ・重機・建設機械の省エネ運転
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	本社事務所 東北支店 工事部 西広島リユースセンター	・裏紙の使用 ・ミスコピーの防止 ・プロジェクター、電子化によるペーパーレス化	・裏紙の使用 ・ミスコピーの防止 ・プロジェクター、電子化によるペーパーレス化	・裏紙の使用 ・ミスコピーの防止 ・プロジェクター、電子化によるペーパーレス化
省資源	節水	本社事務所 東北支店 工事部 西広島リユースセンター	・節水運動 ・雨水利用	・節水運動 ・雨水利用	・節水運動 ・雨水利用
働きやすい環境の整備	事務所・現場の整備	本社事務所 東北支店 工事部 西広島リユースセンター	・労働環境の改善になるような商品の購入に努める ・時間外労働の削減	・労働環境の改善になるような商品の購入に努める ・時間外労働の削減	・労働環境の改善になるような商品の購入に努める ・時間外労働の削減
自ら提供する製品またはサービスの環境配慮	環境配慮型施工の提案	工事部	・目標を設定せず、常に環境に配慮した施工に取り組む	・目標を設定せず、常に環境に配慮した施工に取り組む	・目標を設定せず、常に環境に配慮した施工に取り組む
	受託した廃棄物のリサイクル製品化	西広島リユースセンター	・リサイクル製品販売の推進	・リサイクル製品販売の推進	・リサイクル製品販売の推進



## 6 環境目標の実績

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	実績		年度目標	
		2018年度(基準年度)	2022年4月～2023年3月	2023年度	
二酸化炭素排出量の削減	電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	1,147,586 kg-CO <sub>2</sub>	730,648.74 kg-CO <sub>2</sub>	△1.0%	
	① 電力の削減	102,775 kWh	90,232 kWh		
	②自動車、建設重機の燃料使用量削減	ガソリン	100,616 L 538 kg-CO <sub>2</sub> (月平均排出量/台)		91,118 L 352 kg-CO <sub>2</sub> (月平均排出量/台)
			軽油		275,197 L
		重油	41,167 L		4,638 L
灯油		4,302 L	2,306 L		
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	45.0kg	93.5Kg	△1.0%	
省資源	節水	295.5m <sup>3</sup>	230.0m <sup>3</sup>	△1.0%	
働きやすい環境の整備	事務所・現場の整備			設定しない	
自ら提供する製品またはサービスの環境配慮	環境配慮型施工の提案	6件	環境に配慮して取り組んだ	設定しない	
	受託した廃棄物のリサイクル製品化	19,175 t	19,411 t	+1.0%	

※使用電力の二酸化炭素排出量は、中国電力の平成30年度の排出係数：0.636(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)と、東北電力の平成30年度の排出係数：0.528(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用して算出。

※自社の排出したマニフェストによる全ての産業廃棄物の処理状況(2022年4月～2023年3月)

総排出量	中間処理量	再資源化量	最終処分(埋立)量	再資源化率
5,424.35 t	5,380.79 t	5,380.79 t	43.56 t	99.20 %

## 7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境方針 (キーワード)	環境目標項目	2022年4月～2023年3月の環境活動計画の取組結果と評価		次年度の取組
		取組結果	評価	
二酸化炭素排出量の削減	電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減	(○) 目標を達成している。	引き続き、ダンプ・重機、営業車のエコ運転を周知する。	① 電力の削減、②自動車、建設重機の燃料使用量削減の項による。
	① 電力の削減	(○) 目標を達成している。	不要な電気をつけない等、節電に取り組むよう心掛けた結果、達成できた。	電力の省エネをさらに周知する。
	②自動車、建設重機の燃料使用量削減	(○) 目標を達成している。	エコドライブや「低騒音」、「低振動」、「排出ガス対策型」の重機を使用するよう心掛けた結果、達成できた。	自動車のエコドライブ、建設重機のエコ運転の周知徹底を継続する。
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	(×) 目標を達成していない。	裏紙使用等を継続する。	コピー用紙の裏利用を減らす等の社内検討会を行う。
省資源	節水	(○) 目標を達成している。	水を出しっぱなしにしない等、不要な水を使用しないよう心掛け達成できた。節水運動を引き続き継続する。	節水運動等を継続する。
働きやすい環境の整備	事務所・現場の整備		引き続き総合的に検討し、実現可能なものは適用する。	・環境整備について改善点を社員から募る。 ・時間外労働の削減
自ら提供する製品またはサービスの環境配慮	環境配慮型施工の提案	(○)	環境配慮型施工をするよう取り組めた。	環境配慮型施工の取組を推進する。
	受託した廃棄物のリサイクル製品化	(△) 目標を僅かながら達成している。	前年度後期、意欲的に受注したことで僅かながら達成できた。引き続き継続する。	リサイクル製品化を推進し、年間を通して達成状況を把握すること。

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

---

環境関連法規等（廃棄物処理法、自動車3法、建設リサイクル法、騒音規制法、振動規制法等）の順守評価（令和5年4月21日）を実施し、法遵守を確認しました。また、違反、訴訟等は過去3年間ありません。

## 9 代表者による全体評価と見直しの結果

---

重油式の重機を軽油式に徐々に更新することにより、燃費が思った以上に向上し、また、従業員全員にエコ運転等を周知徹底させていたこともあり、不要な燃料を抑えるよう心がけて取り組んでいたため、重機・車両ごとの二酸化炭素排出量を約3割抑えることができました。このことは当社の環境に対する姿勢でもあり、創意工夫を重ねながら、苗が更に大きく育つよう引き続き努めて参ります。